

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/24】

男子Dリーグ戦

埼玉選抜 13

2	－	1
5	－	0
1	－	3
5	－	0

4 高知県選抜

PSO

審判： 御崎 智徳
武松 直輝

この試合のプレー集計

埼玉選抜	33	SH数	8	高知県選抜
	4	速攻数	0	
	21	ST・SB	4	
	3	SH・P誘発アシスト	0	
	33%	GK阻止率	38%	
2	EX反則数	4		

ST・SB: ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

関東2位の埼玉と四国代表の高知の一戦。埼玉は④稲垣を軸とした高速パスでチャンスを作り出す戦法。対する高知は個人のボールキープ力で勝負を挑むという、タイプの異なるチーム同士の対戦となった。

【1P】

先制したのは高知。⑤別府が埼玉ディフェンスの隙をとらえてシュートを決めた。しかし埼玉もすぐにエース④稲垣が、高知ディフェンスがセンターに注意が向いたところを見逃さずに、ミドルレンジから伸びのあるシュートをボールネットに突き刺して同点。続けて退水を誘発したところを⑥吉川が決めて、埼玉2－1高知で第1ピリオド終了。

【2P】

徐々にペースをつかんだ埼玉が主導権を握り、⑤菊池、⑧小久保、④稲垣で3連続得点。対する高知はシュートにまで至らず、中盤でのボールキープでのミスなどから劣勢に立たされた。優位に立った埼玉は余裕のカウンター攻撃で加点。高知は埼玉の「スイムアタック」ディフェンスになかなか対応できず、攻撃時にボールを奪われることが多く、攻撃パターンが機能しない状況に追い込まれた。完全な埼玉ペースで、埼玉7－1高知で前半を折り返した。

【3P】

埼玉側のボール処理ミスを突き、高知③村田が左サイドから決めると、高知側の士気が高揚。続けて埼玉のオフェンス反則に乗じて⑤別府が決め、さらに埼玉のシュートミスから⑤別府がこの試合3点目をマークして、このピリオドの高知ペースが上がった。しかし、その直後、埼玉の⑤菊池がリバウンドSHを決めて、高知へ流れかけたリズムを取り戻して第3ピリオド終了(埼玉8－4高知)。

【4P】

埼玉が再びペースを上げ、積極果敢に両サイド選手が攻め上がる。そうした泳力勝負では高知はなかなか対応できず、一気に点差がつく展開となった。選手を全員交代させた中でも、高知のペナルティシュートを埼玉GK⑬黒田がセーブ、そこからさらに⑫狩野が加点して、埼玉13－4高知と埼玉が完勝した。

埼玉は高校生も中学生も常に一緒に練習しているため、選手交代しても皆が同じように試合に取り組める強みをフルに発揮した形。特に、この世代では「スイムアタック」ディフェンスは効果的。今後、埼玉と対戦するチームがこの「スイムアタック」ディフェンスにどう対応してくるか。高知は第3ピリオドに見せたように、リズムをつかむと面白い展開ができるチームなので、選手たちの自主性をどこまで発揮してリーグ戦を戦っていけるかが見どころになる。